有料老人木一厶重要事項説明書

施設名	医療連携施設悠七国							
定員・室数	30	人	•	30	室			

有料老人ホームの類型・表示事項

類 型	住宅型
サ付登録の有無	なし
居住の権利形態	利用権方式
利用料の支払方式	月払い方式
入居時の要件	混合型(自立含む)
介護保険の利用	居宅サービス利用可
居 室 区 分	定員1人
介護に関わる職員体制	

1 事業主体

						法人等	声の	種 別			Ż	営利法。	人	
名					称	フリカ゛	ナ			カブシ	キガイシー	ャエス	ピーエス	
						名 乖	卞				株式会	社SPS		
十 。	たるこ	車 敦	THE O)所在	: ₩	干	252-	0135						
土/	にる=	尹 ⁄穷	יין ולל	7 771 13	E 1115					神奈川県相模	原市緑区	大島15	597–1	
連		4	各		先	電 話	番	号			042	2-703-	5242	
建		Л	百		兀	ファッ	クス	番号			042	2-707-	2821	
ホ	_	A	~	_	ジ	http://w	ww.s	ps-kov	ugr.	<u>com</u>				
代	表	者	職	氏	名	役職名	代表	表取締	役		氏名	山瀬	隆	
設	立	名	F	月	日					令和	14年8月26	日		
主	な	<u> </u>	事	業	等	高齢者(居宅・る)	E宅サ	ナービス	ζ					

事業主体が東京都内で実施する介護保険制度による指定介護サービス

ず未工件が未沢和門(天旭)の月			武士地
介護サービスの種類	箇所数	主な事業所の名称	所在地
<居宅サービス>			
訪問介護	2	訪問介護ステーション悠七国	東京都八王子市七国2丁目19番
訪問入浴介護			
訪問看護	2	訪問看護ステーション悠七国	東京都八王子市七国2丁目19番
訪問リハビリテーション			
居宅療養管理指導			
通所介護	2	リハビリ連携施設悠座間四ツ谷	神奈川県座間市四ツ谷372-1
通所リハビリテーション			
短期入所生活介護			
短期入所療養介護			
特定施設入居者生活介護			
福祉用具貸与			
特定福祉用具販売			
<地域密着型サービス>			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
夜間対応型訪問介護			
地域密着型通所介護			
認知症対応型通所介護			
小規模多機能型居宅介護		4 / 40 - 20 - 22	
		1 / 16 ページ	

認知症対応型共同生活介護		
地域密着型特定施設入居者生活介護		
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)		
居宅介護支援		
<居宅介護予防サービス>		
介護予防訪問入浴介護		
介護予防訪問看護		
介護予防訪問リハビリテーション		
介護予防居宅療養管理指導		
介護予防通所リハビリテーション		
介護予防短期入所生活介護		
介護予防短期入所療養介護		
介護予防特定施設入居者生活介護		
介護予防福祉用具貸与		
介護予防特定福祉用具販売		
<地域密着型介護予防サービス>	>	
介護予防認知症対応型通所介護		
介護予防小規模多機能型居宅介護		
介護予防認知症対応型共同生活介護		
介護予防支援		
<介護保険施設>		
介護老人福祉施設		
介護老人保健施設		
介護医療院		

2 事業所概要

2 事本別例女								
	カーカー・ナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	イリョ		セツユウナナ	-クニ			
· H	1 名 称		医療連携施設悠七国					
所 在 均	= 192−0919							
171 11. 1		東京都八	E子市七国27	「目19番3号				
連絡	電話番号	7	042	2-683-2201				
	しファックス番号	7	042	2-683-2202				
ホームペーミ	http://www.sps-ko	yugr.com						
介護保険事業所番号	클							
管 理 者 職 氏 ⁄	A 役職名 <mark>管理者</mark>		氏名	佐藤 幸樹				
事業開始年月日	3		令 和 7 年	3 月 1 日				
届 出 年 月 1	∃		令和7年	1 月 29 日				
届出上の開設年月日	∃		令 和 7 年	3 月 1 日				
特定施設入居者生活介護	新規指定年月日(初回)						
特定地放入店有工店并被	指定の有効期間				まで			
介護予防	新規指定年月日(初回)						
特定施設入居者生活介護	指定の有効期間				まで			
事業所へのアクセン	ス 横浜線 八王子み 南で下車後徒歩4名		バスと徒歩で	12分(八王子	みなみ野駅〜七国			
施設・設備等の状況								
敷地	権利形態 賃	貸借 抵当	権あり					
- 双 坦	面 積 999	9. 79 m²						
	権利形態 賃	貸借 抵当	権あり					
	延床面積 94	19. 4 m² 2/16 ペ ージ	うち有料老人	.ホーム分 73	37. 32 m²			
		2 / 10 ~ -y						

		竣_	[. 日					2025.	. 1/24				
							±	也上	2	階	地下		階
建	物	階	数	うち有	料老人	ホーノ		也上	2	階	地下		階
		耐火構造			<u>準耐火建築物</u>					1 11			1 11
		構	造			木造			建築物	加用途	区分 老人	ホーム	. (有料)
		併設加		なし	,	(•)
			į	契約期間	間	2	025. 1/	′27	~		2060.	1/26	
賃貸借契約の	概要	建物	י ט	自動更新	新 た	l		期借地 1月26日			入居契約 6。	期間に	は2060
		階	定員	室数	·				面積				
		1階	1人	15			13. 14	m²	\sim		13. 66	m²	
居	室	2階	1人	15			13. 14	m²	\sim		13. 66	m²	
<i>/</i> Џ	± .							m²	\sim			m²	
								m²	\sim			m²	
								m²	\sim			m²	
6		階	定員	室数				0	面積				
一時介證	葉 室							m²	\sim			m²	
			/ == ==	_	2			mt	\sim			mt	
			便		なっ								
	⇒n. /#r		洗 面 浴 室		なっなっ								
居室内の等	設備		<u>俗 き</u> 暖房設		全室で								
.,		<u> </u>			主主な		()
				ナ端子	全室		·	置▪攰	約・料	金負	担は各自)
共 同 便	 所		/ / / 箇				\		(<u> </u>	男女共月)
			<u></u> 浴:	1		大	 浴槽:				幾械浴:	2	,
共 同 浴	室			の共用	なし	()
	N/c		用	あり		(機能調	訓練3	 室)
食	堂			の共用	なし	()
その他の共用	施設	なし	,	()
エレベー	タ ー	あり	J	1	基								
消 防 設	備	自動	火災報	知設備	: あ ¹	ノ 火	災通報	装置:	あり	スフ	『リンクラ	7 —:	あり
緊急呼出	装 置	居室	:	あり	便所:		あり	浴室	:	あり	脱衣室	:	あり
3 従業者に関す	る事項												
磁揺川の分类者の	1 米ケ TL ッパ	ジフーの世	4 3 ⁄2 π/. 4		<u></u>								

職種別の従業者の人数及びその勤務形態

① 有料老人ホームの耳		女及びその	勤務形態				
職種 実人数	常	勤	非常	常勤	合計	常勤換算	兼務状況 等
	専従	非専従	専従	非専従		人数	来伤 <u>从</u> 仍 守
管理者 (施設長)	1	1			2人	1.0	
生活相談員	1				1人	1.0	
看護職員:直接雇用	4				4人		
看護職員:派遣					0人		
介護職員:直接雇用	5	1			6人		
介護職員:派遣					0人		

機能訓練指導員					0人		
計画作成担当者					0人		
栄養士					0人		
調理員					0人		
事務員					0人		
その他従業者					0人		
② 1週間のうち、常	動の従業者	が勤務す	べき時間	 数		40 時間	
	 各						
変物 延べ人	常	 ·勤	非常	 常勤			
資格数数	専従	非専従	専従	非専従			
	4	1					
実務者研修の修了者	-	-					
初任者研修の修了者							
たん吸引等研修(不特定)							
たん吸引等研修(不特定)							
資格なし	号の次4位				/		
③-2 機能訓練指導		. H+L		14 H1	1		
資格 延べ人 数		勤 非専従	事従	常勤 非専従			
作業療法士							
言語聴覚士							
看護師又は准看護師	4						
柔道整復師	-						
あん摩マッサージ指圧師							
はり師又はきゅう師							
3-3 管理者(施設·	 長) の資格	<u> </u>			<u>Λ</u>	護福祉士	
② 5 世生4 (施設) ④夜勤・宿直体制	区) ジ 貝 作	<u> </u>			71	受1田111工	
配置職員数が最も	カシュン時	明世:	18 時	0 分	~ '		 分
上記時間帯の職		則而	介護職員			看護暗	
		大米本の「		1 /\!	久上	1	t貝 I 八以上
⑤ 特定施設入居者生活	_		_	44, 11- 1.			
職種 実人数		勤		常勤	合計	常勤換算 人数	兼務状況
//. \r \n \tau \n	専従	非専従	専従	非専従	0.1	八刻	
生活相談員					0人		
看護職員					0人		
介護職員					0人		
機能訓練指導員					0人		
計画作成担当者					0人		
⑤-1 介護職員の資格	各						
次故 延べ人	常	勤	非	常勤			
資格数	専従	非専従	専従	非専従			
女 刻	1 3 10						_
介護福祉士	370						
	7,72						

	介護支援専門員												
	たん吸引等研修(不特別	定)											
	たん吸引等研修(特)	定)											
	資格なし												
	⑤-2 機能訓練指	導員	員の資	格									
	次	べ人		常勤			非常勤	J					
	資格 紫		専従	É 非	専従	専従	当	専従					
	理学療法士												
	作業療法士											_	/
	言語聴覚士												
	看護師又は准看護	師											
	柔道整復師												
	あん摩マッサージ指見	王師											
	はり師又はきゅう	師											
	⑤-3 看護職員及び	バ介語	護職員]	し人当た	- り (常	勤換算)の利	用者数					人
従	業者の職種別・勤続	年数	別人數	女(本事	事業所に	こおける	る勤続	年数)					
	勤続 職	插	看護	職員	介護	職員	生活村	目談員	機能訓練	東指導員	計画作品	成担当者	
	年数	7里	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	/
	1年未満		4		5								/
	1年以上3年未満												/
	3年以上5年未満												
	5年以上10年未満												/
	10年以上												/
	合計		4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	/

4 サービスの内容 提供するサービス

是供するサービス							
食事の提供サービス			あり	(自ら実施)	
食事介助サービス			あり				
入浴介助サービス			あり				
排せつ介助サービス				あり			
口腔衛生管理サービス				なし			
居室の清掃・洗濯サー	ビス等家事接	受助サービス		あり			
服薬管理サービス				あり			
健康管理サービス(定	期的な健康診	》断実施等)		あり			
生活相談サービス				なし			
金銭管理サービス				なし			
定期的な安否確認の方法		職員による館内の巡視。	居	室への定	期的	な訪問	
施設で対応できる医療的ケアの内容 能。	療機関、介詞	蒦保険サービス、訪問看	護┪	ナービスな	ょどの)連携によって提供可	
医療機関との連携・協	カ						
	名称	さがみ在宅診療クリニ	ツ	ク			
	所在地	神奈川県相模原市緑区	大!	島1714-6			
1 1-4	I	<u></u>					

	急変時の相語	淡対応	あり	事業者の求めに応じた診療 あり
	協力の内容	訪問診療	定期健康診断	
	名称			
 協力医療機関(2)	 所在地			
		 淡対応		事業者の求めに応じた診療
	協力の内容	V(),1,/L		770 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
	名称			
	所在地			
協力医療機関(3)	急変時の相記	 淡対応		事業者の求めに応じた診療
	協力の内容			
	名称			
	 所在地			
協力医療機関(4)	急変時の相語	 淡対応		事業者の求めに応じた診療
	協力の内容			
	名称			
 協力医療機関(5)	 所在地			
		. 		事業者の求めに応じた診療
	協力の内容	00,476		7.7/2 7.7/2 7.7/2
新興感染症発生時	名称			
に連携する医療機 関	所在地			
	名称			
協力歯科医療機関(1)	所在地			
	名称			
協力歯科医療機関(2)	 所在地			
L 護保険加算サービス	¥ 等			
個別機能訓練加算				
夜間看護体制加算				
 看取り介護加算				
協力医療機関連携加]算			
認知症専門ケア加算	<u>i</u>			
サービス提供体制強	化加算			
介護職員等処遇改善	加算			
入居継続支援加算				
テクノロジーの導入	、(入居継続)	支援加算関係	系)	
生活機能向上連携加]算			
若年性認知症入居者	受入加算			
ADL維持等加算				
科学的介護推進体制	1 ± n /25			

高齢者施設等感染対	策向上加算							
生産性向上推進体制	加算							
口腔・栄養スクリー	ニング加算							
退院・退所時連携加	算							
退去時情報提供加算								
人員配置が手厚い介	護サービスの)実施						
短期利用特定施設入	居者生活介護	 護の算定						
利用者の個別的な選択し	こよるサービ	 ス提供	あ	IJ				
運営懇談会の開催			あ	IJ	(年	<mark>1</mark> 回·	 予定)
入居者の人数が少ないな	どのため実施し	 ない場合の代替措置	個別郵送	きにて				,
	<u></u> テイ事業		な					
			<u> </u>					
	-							
	年齢							
	要介護度	原	則要介護	認定で	を受け	た方		
入居の条件	医療的ケア							
	認知症							
	その他							
身元引受人等の条件、 義務等	身元引受人等の条件、 原則必用だが応相談(退去時	の精算	· 身元	受け入れ
	利用期間							
体験入居	利用料金							
	その他							
入院時の契約の取扱い		しています。 「管理費含む)が発生 目を請求する。	発生し、そのほか必要に応じ費用が発生した					
	入居者の生命 東そのし、 大きでし、 大きでは、 たまでは、 たまでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	適正化のための指針に 市又は身体を保護する。 君者の行動を制限する。 急やむを得ず身体拘束 の一時性③切迫性 はこついてそれぞれ検 でう。 に当たってはその態様 なかった理由を記録し が監督機関等の指示等	ため緊急を 行為を実施を 持の上、 間、 び定期的が	やむさんのそ見のののでは、	き 得い 過 際 し が し の の	び結果 入居者 際の資	を記録 の心身 (料とす	大況、緊
高齢者虐待防止及び不 当な侵害防止に向けた 適切な対策		を受けた。	上思ネ	つれる	入居者	を発見	した場合	
職員に対する虐待防止 研修		年1回.	以上の研修	 多実が 	<u>н</u>			
非常災害対策		消防記	十画により	実施	<u> </u>			
東業者からの契約解除	事業者からの契約解除 可能(記							

	一時介護室への移動		なし	,							
	判断基準・手続										
	利用料金の変更										
	前払金の調整										
	の変更										
	その他の居室への移動		あり								
	判断基準・手続	ホ- り。		状沥	・ごえ	本人様の	疾患、精神	的な状況に	により移動	かの相談の	可能性あ
	利用料金の変更						t _e	ぶし			
	前払金の調整						<i>t</i> _c	ょし			
	従前居室との仕様 の変更					基	本的な仕様	の変更はな	ない。		
	提携ホーム等への転居		なし	,							
	判断基準・手続										
	利用料金の変更										
	前払金の調整										
	従前居室との仕様 の変更										
学											
	窓口の名称1	医损	寮連携	施設	悠七日	<u> </u>					
	電話番号	<i>—"</i>	31/42-1/3/	7 L P	()() ()	042-68	3-2201				
	対応時間	9	:00	~	18:0			兄日を除く)		
	窓口の名称2		式会社	SPS	,,,,			<u>ин си, т</u>	,		
	電話番号	p 144	121			042-70	3-5242				
	対応時間	9	:00	~	18:0			兄日を除く)		
	窓口の名称3					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	福祉部高樹			 当	
	電話番号					042-62			12277	<u> </u>	
	対応時間	8	3:45	~	17:1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年末年始を	-除く))		
	窓口の名称4						- (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,		
	電話番号										
	対応時間			~		()		
賠信	賞責任保険の加入	đ	あり		保険	の名称:	()
介計價	隻サービス提供により賠 すべき事故が発生したと の対応		あり			の内容:	緊急時対 との連携	応マニュ を迅速に 保証人へi	行い、適切	川に対応。	ご家族様
	数対応及びその予防の めの指針	đ	あり								
利用	月者等の意見を把握する体制、	第	三者によ	よる 許	平価の実	施状況等					
	アンケート調査、意見	育等	利用者	ものす	意見等	を把握す	一る取組	なし	,		
	第三者による評価の実施	施状	:況				なし	結果の公	表	なし	
5	入居者										
介記	護度別・年齢別入居者数	ζ	平	均年	齢:		歳	入居者数合	計: 0	人	
	年齢 介護原	变	自立	要习	_ 支援 1	要支援2	2 要介護 1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護 5

	6 5 歳未満								
	65歳以上75歳未満								
	75歳以上85歳未満								
	85歳以上								
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
入	居継続期間別入居者数				<u> </u>	E 110/e			
	入居期間	6月未	満 6月以 1年末		ユ 5年以 <u>満 10年未</u>	上 10年レ 満 15年未		上	合計
	入居者数								0
男	女別入居者数	男性:		人	女性:		人		
入	居率(一時的に不在となっ	ている	者を含む。)	0	% (定員	員に対する	入居者数)	
直	近1年間に退去した者の人	数と理	由		-	退去者数征	合計:	0 人	
	理由介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護 1	要介護 2	要介護3	要介護4	要介護 5
	自宅・家族同居								
	介護老人福祉施設(特別養護老 人ホーム)へ転居								
	介護老人保健施設へ転居								
	介護医療院へ転居								
	他の有料老人ホームへの転居								
	その他の福祉施設・局齢者任宅 等への転居								
	医療機関(入院)								
	死亡								
	その他								
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0

6	利用料金							
居	住の権利形態、利用	料金の支	を払い方式	【表示事	項】			
	居住の権利形態	1	利用権方式	1~3のうち、				
	【表示事項】	2 3	建物賃貸借終身建物賃				いずれかを選択	2
	利用収入の土むい土	1	全額前払い	方式			1~3のうち、該	5当する方式を
	利用料金の支払い方 【表示事項】 	2 3	一部前払い 月払い方式	一部月打	払い方式		すべて選択	3
利	用者の状態等に応じた	た金額説	足定の有無					
	年齢に応じ	た金額詞	9定	なし				
	要介護状態に応	なじた金	額設定	なし				
入	売等による不在時に に	1	減額なし	~>+b#=			1~3のうち、	
お	ける利用料金(月払い 取扱い				上の場合に限り、	日割り計算	いずれかを選択	1
入	居準備費用 7	なし			円			
	内訳 明細							
	支払日・支払方法							
	解約時の返還							
敷	金	あり						
				0 / 16	^°—\$\$			

	金額	額		141,000 円 ※退去時に滞納家賃及び居室の原状回復費用を除き全額返							返還する。	
家红	賃及びサービスの対価					T						
		プランの	の名称	自	前払金	月額利用料		//	(内訳)	х #	V # L #	
	۸ —	゚゚ヺン	٥٣٦		0円	125, 000円	家賃 47,000		介護費用 0		光熱水費 20,000	
	Bプラン			0円	149,000円	55, 000			42, 000			
	Dノフノ				01.1	0円	33, 000	32, 000	U	42, 000	20, 000	
						0円						
			月額単価	(円)×	想定居住期間	(<u></u> 月)	· により算	 [出		
			(月額単価	額単価の説明)								
		前払金										
		11117777	(想定居住	定居住期間の説明)								
	各											
	料	家賃	近隣家賃相	賃相場から算定								
	金の	管理費		部の維	技管理 チ	の他共通サー	ドス諸経費	お上が人位	上费笙を助図	として質定		
	内	日生貝	位王·六//	コロレン小田		の心穴通り	こへ的性具	33 & U X F	「貝寸で刨木	して弁に		
	訳・明細) 介護費用										
		71 1227714					※介	・護保険サ-	-ビスの自己	己負担額は	含まない。	
			朝食		円・昼食	円	・ 夕食	円	間食		円	
			 1日当たり		1, 000	円 × 30 E	日で積算					
		食費	厨房管理				円など					
						の取扱いにつ						
			食事のキャ 	ンセル	は原則2週間	間前までに申請	i o					
		光熱水費	近隣水光熱	·費相場	から算定							
** +	1. A	≧の取扱い										
H111												
		払日・ 払方法										
		却開始日										
		景対象とし	なし	,								
	-	ハ額 71於 ∫ 時 0		づけ								
	返	景金の算え	È l									
	<u>方</u> 短	式 明解約(夕	·····································	3 か月	<u> </u>	起質日・	入居したほ					
	亡	退去含む) <u>返還金の</u> 算	2231113	<u> </u>		<i>Æ</i>	7000707	-				
		医球型ックタ 景期限		終了日	から	日以	力					
	保全措置なし		,	 保全先:								
		の他留意	F									
日夕	項	 J用料の取	扱い									
月 7		用科の取 払日・										
		以 方法	指定日	に口座	振替							

その他留意事 項

退去時には、月額料金を日割りにて算定し、請求いたします。

介護保険サービスの自己負担額

※要介護度に応じて利用料の1割(一定以上所得の場合2割)を負担する。

単位:円

(30日換算・自己負担1割の場合)

介護度	介護報酬	自己負担額
要支援 1		
要支援2		
要介護 1		
要介護 2		
要介護3		
要介護4		
要介護 5		

加算の種類	算定	備考
個別機能訓練加算	なし	
夜間看護体制加算	なし	要介護のみ
看取り介護加算	なし	対象者のみ
協力医療機関連携加算	なし	対象者のみ
認知症専門ケア加算	なし	
サービス提供体制強化加算	なし	
入居継続支援加算	なし	
生活機能向上連携加算	なし	
若年性認知症入居者受入加算	なし	対象者のみ
ADL維持等加算	なし	
科学的介護推進体制加算	なし	
高齢者施設等感染対策向上加算	なし	
生産性向上推進体制加算	なし	
口腔・栄養スクリーニング加算	なし	対象者のみ
退院・退所時連携加算	なし	対象者のみ
退去時情報提供加算	なし	対象者のみ
介護職員等処遇改善加算	なし	

利用者の個別的な選択による生活支援サービス利用料 一部有料(サービスごとの料金は一覧表のとおり)

料金改定の手続

東京都および八王子市が発表する消費者物価指数および人件費等を勘案し、運営懇談会の意見を聴い た上で改定することがあります。

【料金プランの一例】

最も一般的・標準的なプランについて記入すること。

プランの名称 Aプラン

単位:円

入居準備費用	敷金	前払金	月額利用料
0	141, 000	0	125, 000

※利用者の個別的な選択による生活支援サービス利用料及び介護保険サービスの自己負担額は含まない。

7 入居希望者等への事前の情報開示

入居契約書の雛形	入居希望者に公開						
管 理 規 程	入居希望者に公開						
事業収支計画書	公開していない						
財務諸表の要旨	公開していない						
財務諸表の原本	公開していない						
その他開示情報							

添付書類: 介護サービス等の一覧表

八王子市有料老人ホーム設置運営指導指針との適合表

	月書及び一覧表・適合 月を受け、理解しまし		目
署名	年	月	日

説明年月日			
	年	月	日
説明者職・氏	名		
職			
氏名			
		·	

介 護 サ ー ビ ス 等 の ー 覧 表 (参考様式)

区分	(自	<u>立</u>)	(要支援、要加	介護 Ⅰ~V区分)
_ "	追加料金が発生しない(前払金又は月額利用料に含む)サービスにO	サービス(料金を表	いもの 特定施設入居者生活	その都度徴収するサービス(料金を表示) 住宅型有料老人ホーム
サービス			介護のサービスに■ 前払金又は月額利用 料に含むサービスに ○	サービス利用を原則とす
<介護サービス>				
巡回 日中			0	
巡回 夜間			0	
食事介助				▲(1回/300円)
排泄介助				▲(1回/150円)
おむつ交換				▲(1回/150円)
おむつ代				実費
入浴(一般浴)介助				▲(1回/500円)
清拭				▲(1回/500円)
特浴介助				▲(1回/500円)
身辺介助				A
·体位交換				A
・居室からの移動				A
・衣類の着脱				A
・身だしなみ介助				A
口腔衛生管理				A
機能訓練				A
通院介助 (協力医療機関)				▲(30分/600円)
(協力医療機関) 通院介助 (上記以外)				▲(30分/600円)
緊急時対応				
オンコール対応				
<生活サービス>				
居室清掃			〇(週一回まで無料)	週2回目以降1回/200円
リネン交換			〇(週一回まで無料)	週2回目以降1回/200円
日常の洗濯				1回/200円
居室配膳•下膳				1回/200円
嗜好に応じた特別食				
おやつ				

理美容		カット1回/2500円(パー マ、カラーは別途実費)
買物代行(通常の利用区 域)		1回/1000円
買物代行(上記以外の区 域)		1回/1000円
役所手続き代行		1回/1200円
金銭管理サービス		
<健康管理サービス>		
定期健康診断		実費
健康相談		
生活指導・栄養指導		
服薬支援		月/3000円
生活リス、ムの記録(排便・睡 眠等)		
医師の訪問診療		
医師の往診		
<入退院時、入院中のサー ビス>		
移送サービス		
入退院時の同行(協力医療 機関) 入退院時の同行(上記以		30分/600円
入退院時の同行(上記以 外)		
入院中の洗濯物交換・買物		
入院中の見舞い訪問		
<その他サービス>		

この様式は参考様式です。施設ごとに、独自様式により作成しても差し支えありません。

- 注1)自立、要支援及び要介護状態区分に応じて介護サービス等の一覧表を作成。自立、要支援 $I \cdot II$ 、要介護 $I \sim V$ と区分した場合は8区分となるが、一覧表を分かりやすくする観点から、一覧表上サービス内容が同じ表現である場合等は、適宜、複数の区分をまとめることとして差し支えない。
- 注2) 上記のサービスの項目については、少なくとも記載すべき事項を掲げており、ホームのサービス提供の状況等に応じ、適宜、項目の順序の変更、項目の追加等を行って差し支えないものであること。
- 注3) 記入にあたっては、回数、費用負担を明らかにすること。
- 注4)「その他サービス」欄は、上記以外のサービスを必要に応じて記入すること。

八王子市有料老人ホーム設置運営指導指針との適合表

	指針項目		該当に〇)	備考	
安	定的・継続的な居住の確保のための項目					
1	有料老人ホーム事業の継続を制限する恐れのある抵当権が設 定されていないか。	適合		不適合		
2	借地・借家の場合、入居者の居住の継続を確実なものとするため、指針4(3)から(5)までに定めるすべての要件を満たしているか。	適合	不適合	非該当		
緊	急時の安全確保のための項目					
3	有料老人ホーム(児童福祉施設等)の建物として建築基準法 第7条第5項に規定する検査済証が交付されているか。	適合		不適合		
4	耐火建築物又は準耐火建築物であるか。	適合		不適合		
5	各居室・各トイレ・浴室・脱衣室のすべてにナースコール等緊 急呼出装置を設置しているか。	O 適合	·	不適合		
6	【収容人員(従業員含む。)10人以上の施設】 消防署に届け出た消防計画に基づき避難訓練を実施している か。	適合	不 · 適 合	非該当		
7	消防法施行令に定める消防用設備(スプリンクラー設備等)を 設置し、消防機関の検査を受けているか。	適合		不適合		
8	災害時の関係機関への通報及び連携体制並びに地域との連 携体制を整備し、これらを定期的に職員に周知しているか。	適合		不適合		
入	居者の尊厳を守り、心身の健康を保持するための項目					
	各居室は界壁により区分されているか。	適合		不適合		
10	各居室の入居者1人当たりの面積は壁芯13㎡以上であるか。	適合		不適合		
11	すべての居室の定員が1人又は2人(配偶者及び3親等以内の 親族を対象)であるか。	O 適合		不適合		
12	入居時及び定期的に健康診断を受ける機会を提供している か。	適合		不適合		
13	緊急時にやむを得ず身体拘束等を行う場合は、記録を作成することが決められているか。	適合		不適合		
14	入居者への虐待の防止早期発見のため、職員に対する研修の 実施その他の必要な措置を講じているか。	適合		不適合		
15	職員の資質向上のために、外部研修その他、適切な研修の機 会を確保しているか。	適合	•	不適合		
入居者の財産を保全するための項目						
16	前払金について、規定された保全措置を講じているか。	適合。	不 · 適	○ 非該当	保全先:	
	15 / 1	6~	<u> </u>			

17	前払金について、全額を返還対象としているか。 (初期償却0の場合のみ「適」とする。)	適合		不適合	•	〇非該当	初期償却率: %
18	入居した日から3か月以内の契約解除(死亡退去含む)の場合については、既受領の前払金の全額(実費を除く。)を利用者に返還することが定められているか。	適合		不適合		〇非該当	
そ	その他						
19	入居希望者への事前の情報開示することが定められているか。	○ 適合		•		不適合	

[※] 開設日前にあっては見込みで記入し、実際の状況については備考欄に記入すること。※ 不適合の項目については、その具体的な状況、指針適合に向け検討している内容及び改善の期限を原則として明記し、代替措置がある場合はその内容についても記入すること。